

にのへプライド

二戸には、地元から羽ばたき、全国、世界で活躍する人たちがいます。地元への思いを胸に挑戦し続ける人たち、二戸の誇り「にのへプライド」を紹介します。



兄弟全員バンドマン

サトウマンションは、石切所で新聞店を営む佐藤儀尋さん・篤子さんの長男でベースの幸城さん、次男でドラムの英樹さん、三男でギターボーカルの和夫さん、四男でギターの伸之さんと構成。平成27年11月に結成し、東京を拠点に活動している実の四兄弟ロックバンドです。

同バンドは今年結成4年目、(株)ポケモン、いわてグルージャ盛岡、J.A全農いわてとのコラボなど大きな飛躍の年となりました。

令和2年1月4日、二戸市民文化会館大ホールで凱旋公演を行うことが決定。今年8月には同公演に向け、民間団体と市で、PR活動などを支援する実行委員会（清水正敏会長）を設立し、大ホールを満員にして、二戸から全国に発信しようとしています。

最後のチャンス

兄弟が音楽を始めるきっかけは、篤子さんが知人から譲り受けたギターを長男の幸城

さんが弾き始めたこと。兄に影響を受けた弟たちも次第に音楽に没頭していききました。

四兄弟は高校入学後にそれぞれバンドを組んで活動。卒業後もバイトをしながら活動を続けるも、思うようにいかず限界を感じていました。

そんな時、伸之さんが四兄弟でのバンド結成を切り出します。兄弟でやることのメリット・意義、一歩間違えば家族がバラバラになる危険をはらんだこの提案を何度も話し合いました。それぞれが今できることを表現でき、一番共有しあえる仲間として、サトウマンションを結成、まさに最後のチャンスです。

凱旋か解散か？

少しずつ活躍できる場所が増えて広がっていく中で、発信の大きな挑戦が今回の凱旋公演です。これまでもワンマンライブで200人程度のキャパを満員にした実績はありますが、今回は千人。メンバーにとって初めての場所であり、夢の一つであった大

二戸市出身・実の4兄弟ロックバンド

SaToMansion



①幸城さん（左）の姿に憧れて弟たちも音楽の道に／②英樹さん（右）と和夫さん（中央）は知人と「テキサススタイル」を結成しインディーズデビュー。12年の活動後休止／③二戸駅前地下道などMVの撮影地などを聖地巡礼するファンも／④大平球場での「VOICE」MV撮影には、100人のボランティアが参加／⑤イベントなどでyoutubeチャンネル「サトマンtube」をPR／⑥今年8月に官民一体で「大ホールを満員にする実行委員会」を結成／⑦今年は岩手県応援ポケモン「イシツブテ」公式テーマソング「岩と手！岩手！イシツブテ！」、いわてグルージャ盛岡公式応援ソング「FLY AWAY」をリリース

凱旋公演チケット情報

日時 令和2年1月4日(土)午後5時
(午後4時開場)

場所 市民文化会館

チケット 一般：4,500円、中学生・高校生：2,500円（当日学生証を持参ください）、親子：4,500円（大人1人、小学生以下1人）

プレイガイド 市民文化会館、T-mart、二戸ショッピングセンターニコア、(株)南部美人、チケットぴあ、ローソンチケットなど
※詳しくはホームページ（<https://satomansion.com>）へ

問い合わせ先 2020.1.4 SaToMansion 二戸凱旋公演実行委員会事務局（クラブチェンジ内 ☎019-652-7182）



二戸から岩手の星へ

「今はどんな場所ですごくたことでもネットで大きく広がっていく時代。田舎出身のバンドでも千人規模の大ホールを埋める事が出来るんだという結果を出し、俺達が生まれ育った二戸の地から岩手とロックをどんどん盛り上げていきたい」と語る和夫さん。

夢に向かって走り続ける「日本一の親不孝バンド」が、流れ星をつかんで「岩手の星」になるその日は確実に近づいています。

ホールでの公演を成功させ、新たにスタートを切って全国へ飛び出していききたいという決意が込められています。

もう一つのチャレンジが、今年大晦日までのユーチューブチャンネル「サトマンチューブ」1万人登録。恩人でもあるタレントの武井壮さんが課した指令で、達成できない場合は「解散！」というもの。「二戸の皆さんもぜひ登録をお願いします」と動画編集を担当する幸城さん。

01	SaToMansion 凱旋公演
02	特集にのへプライド
06	決算
08	にのへトピックス
11	News & Information
14	見逃さないで！病気のサイン 減塩レシピ
15	きらり！明日の風～遠藤由也さん～ ぼうさいナビ
16	こしゃーる、図書館情報
17	ちいさな美術館、にのへの先人
18	こみゅに Tea たいむ、公民連携通信
19	慶弔、休日当番医など
20	全国へ挑む



亀磨くんイラスト・きり光葉

広報にのへ 11月1日号 目次

世界へ羽ばたく

「世界大会に出場して初めて入賞できたのが、日本記録を出したことよりも嬉しかった」と答えるのは、IAAF世界リレー2019女子4×200mに1走として出場した山田美来さん（日本体育大学2年）。二戸市出身の山田さんはこれまで、福岡中、盛岡誠桜高時代から各世代の数々の大会で、記録の更新や入賞を果たしてきました。

成長のその裏に

小さいころから走ることが好きだった山田さんが、陸上の道を進むことになったのは自然なことでした。現在は日本体育大学で、昼休みの約1時間ほどの練習。限られた練習の中で「何のために今の練習をしているのか。この動きはどんなところに生きていくのか、一つひとつ自分なりに理解しながら練習している」とこが成長につながっています。

日本体育大学2年

山田 美来

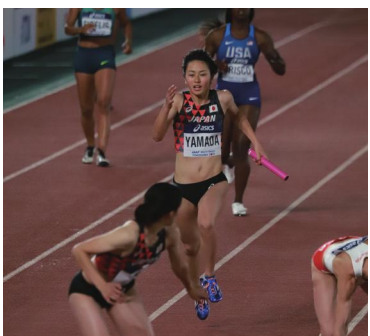
Yamada Miku



目標はオリンピック

そんな山田さんにも陸上をやめたいと悩んだ時期がありました。しかし、大学の友人の一言で「やらされるのではなく自分のために楽しんで走っていいんだ」と考えるようになったから記録も伸びるようになりました。

山田さんには、中学生のときから話し続けている「オリンピック出場」という大きな



世界リレーに出場した山田さん

一步一步
目指す先は
オリンピック

その一口に
ふるさとの味と
小さな幸せを



上／二戸の地酒を使った商品も
下／小桜屋でも一部販売しています



故郷の素材で世界へ

猿舘英明さんの実家は福岡の老舗菓子店「小桜屋」。幼少のころから身近にお菓子があつた環境で育ち、高校卒業後、パティシエを目指して東京や本場のフランスで経験を積み、2006年には東京都武蔵野市に「マ・プリエール」を開業。その間にもさまざまなコンクールで賞を受賞して

います。中でも2014年、パリのショコラ愛好会「CCC (Club des Croqueurs de Chocolat)」日本人枠で、最高評価の5タブレットを獲得。二戸産ヒメグルミを使ったボンボンショコラが、出品された50品の中で最高点の98点という成績を収めました。

その技を地元銘菓に
(株)小松製菓の「チョコ南
部プレミアム」。この開発に

マ・プリエール（東京都）シェフ

猿舘 英明

Sarudate Hideaki

猿舘さんが携わっています。チョコ南部のヒットの裏には、南部せんべいとショコラを知る猿舘さんの存在があったからともいえるでしょう。

今や、岩手を代表する定番のお菓子として多くの人に愛され、私たちの身近なところでも猿舘さんの手がけた味を楽しみことができます。

二戸の味で笑顔を作る

猿舘さんの店舗では現在、

10種類以上の二戸産素材を使ったショコラを販売しています。人気を誇る「マ・プリエール」のスイーツを、常時購入できるのは武蔵野市の店舗だけです。「二戸の素材を使ったスイーツを通して、お客さんが小さな幸せを感じてくれるようなものをずっと届けたい」と話す猿舘さん。今日も、故郷への思いも込めたスイーツで、たくさんの人を笑顔にしています。